

問1 弥生時代に大陸から伝わり、日本の社会を大きく変化させた稲作の広がりについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 稲作は日本全土に均一に広まり、北海道や沖縄においてもこの時期に大規模な水田開発が行われた。 | 2. 稲作は九州から始まり、東北地方まで広がったが、当時の気候や環境の影響もあり北海道や沖縄を除く地域に定着した。 | 3. 稲作の普及により、それまで使われていた打製石器がすべて消失し、すべてが青銅器や鉄器に置き換わった。 | 4. 稲作が伝わった直後に大王（おおきみ）と呼ばれる強力な支配者が現れ、全国の開墾を命令した。 |
|--|---|--|---|

問2 中国大陸や朝鮮半島から九州北部へ伝わった稲作が東日本へと広まった時代、収穫を祈る祭りが重要視されるようになりました。この時代に祭りの道具として作られた、つりがねのような形をした青銅器を何と呼びますか。 (2023年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|-------|---------|
| 1. 埴輪 | 2. 打製石器 | 3. 銅鐸 | 4. 縄文土器 |
|-------|---------|-------|---------|

問3 3世紀前半の倭（日本）において、邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送った背景と、その結果として得られたものについて説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 中国の魏の皇帝から「親魏倭王」の称号や多数の銅鏡などを授かることで、自らの権威を国内に示し、統治を安定させようとした。 | 2. 仏教などの新しい文化や技術を取り入れるため、百済を通じて大陸との国交を樹立し、高度な官僚組織を構築しようとした。 | 3. 中国の唐から律令制度を導入するために遣唐使を派遣し、天皇を中心とした中央集権国家の仕組みを整えようとした。 | 4. 後漢の皇帝から金印を授かることで、九州北部を中心とした小国の連合を強固なものとし、大陸との交易を独占しようとした。 |
|--|---|--|--|

問4 弥生時代の高床（式）倉庫において、柱と床が接する部分に「ネズミ返し」と呼ばれる板状の部材が取り付けられた理由として、当時の社会背景を踏まえた説明はどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 集落間の争いが激しくなったため、床下に敵が潜り込んで火を放つことを防ぐ防壁が必要だったから。 | 2. 大陸から新たな建築技術が伝来し、建物の耐震性を高めて大規模な集落の崩壊を防ぐ必要があったから。 | 3. 稲作の開始によって収穫した食料を蓄えるようになったため、その貯蔵分を害獣から保護する必要があったから。 | 4. 定住生活が始まったことで、家畜として飼育し始めた動物が建物内に入り込むのを防ぐ必要があったから。 |
|---|--|--|---|

問5 1世紀半ばの日本（倭）において、九州にあった奴国の王が中国の王朝に使者を送り、皇帝から金印を授けられたという記録が中国の歴史書に残されています。このとき、奴国の王に金印を授けた中国の王朝として正しいものを次の中から選びなさい。 (2026年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 隋 | 2. 漢 | 3. 秦 | 4. 魏 |
|------|------|------|------|

問6 「漢書」地理志や「魏志」倭人伝などの中国の歴史書には、倭の女王である卑弥呼や、それ以前の倭の小国の王が、中国の皇帝に使者を送ったことが記されています。このような古代の日中外交において、日本の支配者が中国の皇帝から称号を授けようとした主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 中国国内でのキリスト教の布教を許可してもらい、宗教的な指導者としての地位を確立するため。 | 2. 中国の皇帝と対等な立場で軍事同盟を結び、高句麗や新羅を共同で攻撃するための約束を取り付けるため。 | 3. 中国の皇帝から直接的に領土を譲り受け、日本列島を中国の行政区画の一部として統治するため。 | 4. 中国の強力な武力や権威を背景に、日本国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性を示すため。 |
|---|---|---|---|

問7 弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器のうち、銅とスズの合金で作られ、主に豊作を祈るなどの祭祀（祭り）の儀式に用いられた道具の総称を何というか。 (2022年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 1. 鉄器 | 2. 打製石器 | 3. 青銅器 | 4. 土器 |
|-------|---------|--------|-------|

問8 弥生時代に使用された青銅器である「銅鐸」の変化や、当時の社会における役割について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 死者の霊を守るためや王の権力を誇示するために、古墳の表面に並べられた土製の焼き物として、全国各地の有力な豪族の間で広まった。 | 2. 当初は内部に「舌（ぜつ）」を吊るして音を鳴らす楽器として使われたが、次第に大型化し、豊作を祈る儀式で飾るための道具へと変化した。 | 3. 大陸の王朝から日本の王に授けられたもので、金印とともに当時の日本が中国の皇帝に認められていたことを示す外交上の重要な証拠となった。 | 4. もともとは実戦で使うための鋭い刃を持つ武器であったが、次第に大型で薄い形状になり、首長の権威を示すための宝物として扱われるようになった。 |
|---|---|--|---|

問9 佐賀県の吉野ヶ里遺跡などの墳丘墓から出土する「細形銅剣」をはじめとした青銅器の性格について述べた文として、歴史的な事実と合致するものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|---|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 鉄器に比べて硬度が高かったため、土木工事の道具として普及した | 2. 調理や食事を円滑に進めるために開発された、一般庶民の日常生活用具であった | 3. 富や権力を象徴し、村々のまとまりを強めるための儀式や祭りに用いられた | 4. 弥生時代を通じて、一貫して実戦での殺傷能力を追求した武器であった |
|-----------------------------------|---|---------------------------------------|-------------------------------------|

問10 古代の日中関係をまとめた学習レポートにおいて、5世紀のヤマト王権による外交について記述する場合、その内容として正しいものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 邪馬台国の卑弥呼が中国の魏に使節を派遣し、「親魏倭王」の称号とともに金印を授かり、国内の小国連合の統制を強めた。 | 2. 奴国の王が中国の後漢へ使節を派遣し、光武帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かって、北九州での地位を確立した。 | 3. 小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣され、対等な立場での外交を求める国書を提出して、新しい官制や憲法を導入しようとした。 | 4. 「倭の五王」と呼ばれる王たちが、中国の南朝に使節を派遣し、朝鮮半島での軍事的な指揮権や自らの地位を認めさせようとした。 |
|---|---|---|--|

問11 1世紀半ば、倭の奴国の王が、危険を冒してまで当時の中国の王朝であった漢（後漢）に使節を送り、皇帝から金印を授かった政治的な背景・目的として最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 中国で起きていた大規模な農民反乱を鎮圧するために、倭の軍事力を提供して同盟関係を築くため | 2. 中国で当時流行していた仏教を正式に日本へ導入し、宗教的な力によって国内の混乱を鎮めるため | 3. 中国の皇帝から王としての地位を認めてもらい、その権威を背景に周囲の小国に対して優位に立つため | 4. 中国で発明されたばかりの青銅器や鉄器の製造技術を独占し、列島全体を武力で統一するため |
|---|---|---|---|

問12 古代の東アジアにおいて、倭（日本）などの周辺諸国の首長や国王が、中国の皇帝に使者を送り、貢物を捧げた外交形式を何と呼びますか。この形式において、使者は中国の皇帝からその地域の支配権を認められ、称号や金印を授かることで、自らの権威を高めようとしていました。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 冊封 | 2. 民間貿易 | 3. 通商 | 4. 朝貢 |
|-------|---------|-------|-------|